

情熱 責任
真摯 覚悟

埼玉県議会議員

宇田川ゆきお 県政報告

埼玉県議会

平成30年1月1日発行 埼玉県議会自由民主党議員団 宇田川ゆきお県政事務所
〒340-0801 埼玉県八潮市八條 393 Tel. 048-932-4055 Fax. 048-932-6205

県政に関するご意見・ご要望をお寄せください。



八潮の未来を拓く!

地方自治の構造は、その地域に住む人々が自らの負担と自らの責任に基づいて社会を運営することだと言えます。八潮の未来を切り拓いていくためには、政治に対して関心を持ちながら最善を求めて活動することが必要です。難しい理論や議論を振りかざす前に地域社会の夢や希望を実現する協働の力が湧き上がらなければなりません。



県政と市政を結ぶ

まちづくりを巡るキーワードに「協働」という言葉が使われます。「市民と行政」「市民と市民」「行政と行政」など共通の課題を共有しながら対等な関係で汗を流して解決していくことですが、県政と市政においても「協働」という概念が存在すると言われていています。もちろん協働という意味には連携も含まれますから、埼玉県の行政権限を可能な限り八潮市に導入することが望まれます。宇田川ゆきお県議は大山しのぶ市長と共に八潮を全力で主張してまいります。



ご挨拶

平成30年を迎え、新年の決意をする季節となりました。とりわけ、昨年の八潮市長選挙・八潮市議会議員選挙、衆議院議員選挙におきましては皆様方に多大なるご尽力をいただきました。

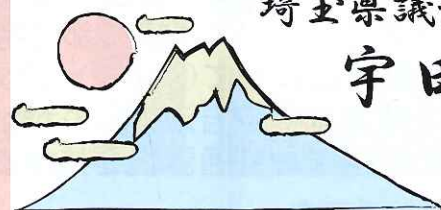
間接民主主義を採用する政治制度では選挙によって代表者を選出し、その代表者が正当性を持って政策を決定していくという仕組みだと説明されています。だからこそ選挙の勝敗は大きな意味を持つことになるのです。

昨年7月の都議会議員選挙・10月の衆議院議員選挙では激しい風が吹き荒れ、都民ファースト・希望の党に正反対の結果がもたらされました。メディアによる大衆操作の結果だと結論づけられていますが、大切なことは有権者の支持を得るための誠意の有無だと思います。

私は県議会議員一年生。全てが試練です。八潮市のため、埼玉県のため全力でチャレンジしてまいりますので本年もご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

埼玉県議会議員

宇田川ゆきお



市民意識を高める



八潮市を地図上で見ると、埼玉県の南東部にあり東京都足立区・葛飾区と隣接しています。つくばEXの開通により都内から移住する市民が増えてきています。新旧市民は歴史的な八潮市の伝統を学びながら地域に愛着を持った「ふるさと意識」を高めていかなければなりません。



まちづくりを総合的に進めるために！

国との調整を推進し市民の声を届ける

昨年10月22日執行の衆議院議員選挙において埼玉14区では三ツ林ひろみ議員が当選しました。選挙区代表として地域課題の解決にも大きな期待が寄せられています。

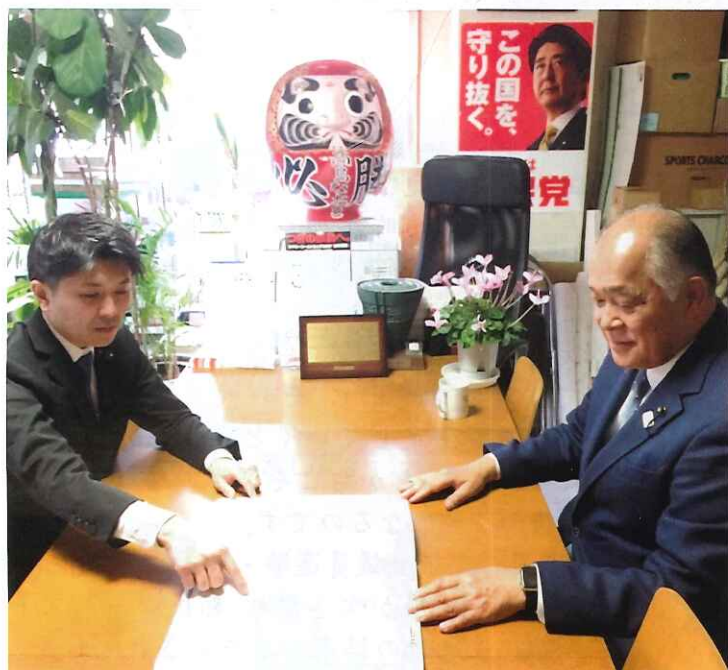
宇田川ゆきお県議は、埼玉県や八潮市における県民・市民の声を届け「住み良いふるさと」の実現に向けて三ツ林議員と共に力を合わせてまいります。

八潮市の歴史を調べてみると、低地と河川が流れている地理的環境から「水」との戦いが特徴的だと言えます。利根川・江戸川・中川・綾瀬川などの水害対策には堤防強化事業の推進が欠かせません。市民生活の安全を確保するために「国の政策」を市や県が協力して推進するネットワークが必要です。

また、八潮市の都市機能をさらに充実させるためにつくばエクスプレスの車両増車と秋葉原から東京駅への延伸、東埼玉道路の早期開通など交通機関の整備を積極的に進めていかなければなりません。



東京都・足立区・葛飾区との連携強化！



都連幹事長 高島都議と面談

足立区選出の高島なおき都議会議員(自民党東京都連幹事長、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会理事)と広域行政圏の問題について話し合いました。①つくばエクスプレス東京駅延伸について②地下鉄8号線の建設について③綾瀬川新橋の可能性について④東京都立特別支援学校の入学要件について⑤オリンピック・パラリンピックと東京都周辺自治体とのかわりあいについてなど、多くの共通認識を持つことができました。



青木葛飾区長と意見交換

11月に3選された青木かつのり葛飾区長と意見交換のため葛飾区役所を正式訪問。東京葛西用水の上流自治体である八潮市選出の県議会議員であることを自己紹介し、①古新田の区画整理に伴う葛飾区西水元との架橋問題について(都県を含め構想を共有することと葛飾区・足立区にかけられる中川新橋についても30年以上かかった。誰かが言い出さなければ何もできないと葛飾区長)②亀有経由の地下鉄8号線実現について運動展開を提言しました。

埼玉県議会議員
宇田川ゆきお
一年の歩み

「光陰矢の如し」のとおり、過ぎてしまえば1年は、あっという間でした。県議会本会議・委員会での質問や陳情・要望活動に始まり、各種選挙での応援、そして市民活動の輪に入り、コミュニケーションを充実。様々な経験は大きな力の基礎になります。今年の主な出来事をまとめてみました。



本会議質問



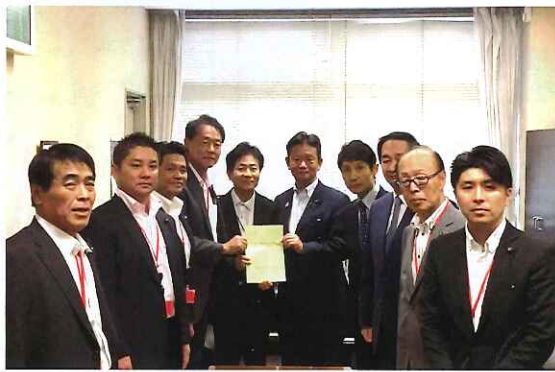
防犯のまちづくり街頭活動



衆議院議員選挙



町会自治会の夏祭りへ参加



東埼玉道路延伸に向けた国への要望活動



八潮PA早期開発に向けた国への要望活動(司会進行)



各地域での対話集会



県外視察
(再生可能エネルギー消化ガス発電)



埼玉県議会 委員会での調整

一歩一歩着実に市民の願いを実現へ

■ 葛西用水親水化事業



草加市内整備済み



八潮市内整備済み



葛西用水(施工前)



足立区内整備済み

埼玉県では、県民誰もが川に愛着を持ち、ふるさとを実感できる「川の国埼玉」の実現を目指し「川の再生」に取り組んでいます。八潮市も地域振興に取り組む行政施策の一環として県と連携して水辺空間の整備・拡充を行い「川の国埼玉はつつプロジェクト」を事業化しました。

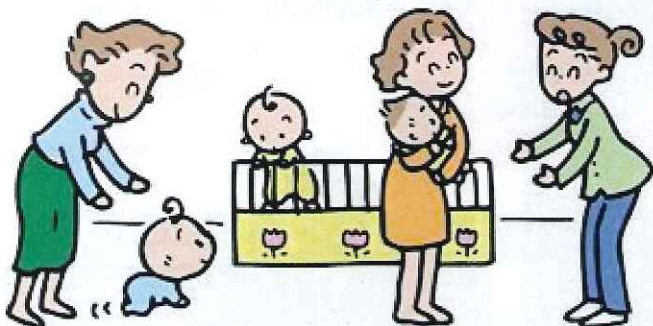
東京葛西用水の水辺空間を安全で安心して散策などを楽しむため、親水護岸、遊歩道等の整備を実施します。平成 29 年度に新規事業として位置づけ平成 32 年度までを予定しています。

■ 柳之宮橋架け換え

老朽化した橋の架け替えは、市民の安全・安心を担保する事業です。柳之宮橋は大型自動車の往来が激しく、県道整備の進捗に合わせながら工事に着手します。国土交通省・埼玉県・八潮市が協議を重ね設計し、具体的には工事中の迂回路として上流に架橋のための土地を確保してからになります。

■ 埼玉版ネウボラ事業

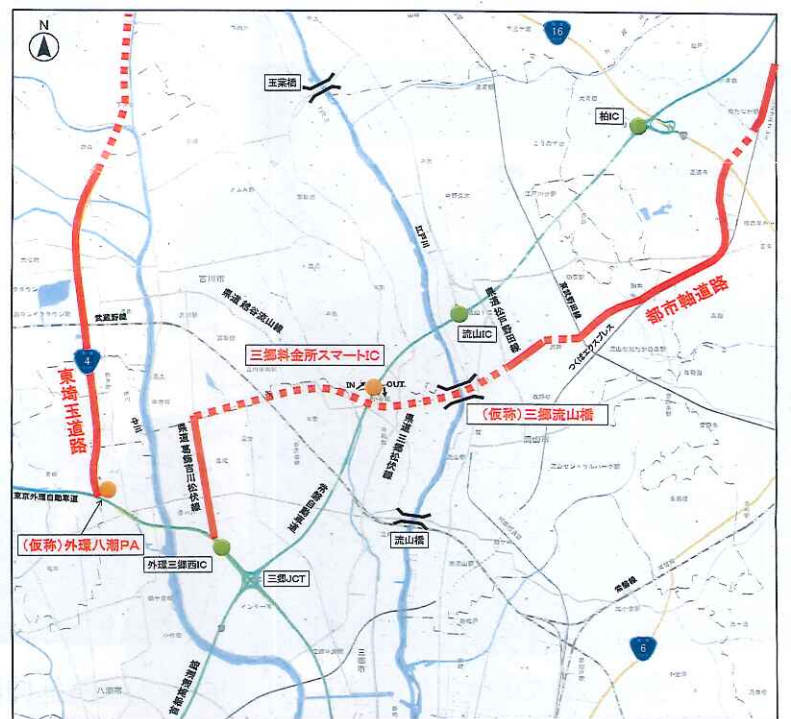
将来の日本を担っていくのは子ども達です。だからこそ人口減少や子育て環境の整備などが社会問題として議論されています。宇田川ゆきおは、県議会議員に当選直後からネウボラ推進事業（妊娠期から子育て期までの包括的支援制度）を提唱し、平成 29 年度では 2 億 8 千万円の県予算を確保しました。



■ 教育水準を上昇

教育は一人ひとりの個性を尊重した全人教育（知識・技能教育にかたよらず、感性・特性などを重視して人間性を調和的・全面的に発達させる）にあると言われますが、教育レベルの向上も意識しなければなりません。県立高校の校舎改築を進めながら、個性的な教育内容の充実を提言してまいります。

■ 八潮インター着工へ



—— 開通済区間 - - - - - 未開通区間

八潮市北部地域に東西に横断する東京外環自動車道にパーキングエリアを整備し、スマートインターチェンジを設置することにより企業誘致、道の駅等の整備構想があります。この度、埼玉県議会東埼玉道路及び周辺整備建設促進議員連盟が発足。事業中区間の早期完成と地域高規格道路の延伸及び周辺整備に取り組みます。

